

## 令和元年度事業報告

例年この季節には、入学式、入社式など新生活をスタートさせる活動的な時期を迎えているはずですが、昨今の新型コロナウイルスによる感染拡大により、国による自粛要請に従うことを余儀なくされており、人の行き来が途絶えた異常な事態となっております。これによる影響は、私達の日常生活はもとより、政治・経済・文化などあらゆる分野に深刻な打撃を与えております。

ある側面で捉えると、人類の歴史は感染症との戦いの歴史でもあると云われ、それに打ち勝ってきた歴史でもあります。現段階では、先行きは不透明で予測はできませんが、日常の生活に活気と笑顔が戻ることを切に願い、一人一人の自覚と世界の叡智を信じて、この危機に立ち向かうことが求められています。

2019年度の当協会の活動も例外ではなく、新型コロナウイルスにより、計画していた活動も大きな影響を受けました。年明け以降に予定されていた後期セミナーおよび勉強会を延期せざるを得なくなり、各委員会も電子情報の交換による会議に切り替える事態となりました。

このような状況下でも通期を通した総収支は、上半期事業活動の堅調な実績と会員企業の増加に支えられ、令和元年度決算は前年度をやや上回る115万円の黒字となりました。

研究例会・技術セミナー、企業見学会および勉強会においては、企業における廃棄物処理技術の取組みとその周辺技術に関する最新情報の提供、また当協会のメインの事業であります食品包装シンポジウムでは、「持続可能な社会における食品包装用プラスチックのあり方（ホンネで語る環境問題）」と題して活発な意見交換を行い、大変有意義であったという評価を頂きました。

また、昨年に引き続き、出展参加企業数、会場の規模を拡大して開催した展示会「Next Package 2019」は、非会員100名弱を含む300名以上の来場者があり、当協会の会員企業同士の情報交換の場として、また会員以外の食品包装に携わる多くの方々にとっても先端技術と最新情報を知る上での貴重な機会となり、予想を上回る大盛況の展示会となりました。

当協会の重要な役割りである食品包装の人材育成活動では、幅広いカリキュラムと充実した内容で、受講対象者のニーズに沿った初級、中級の2段階による「食品包装人材育成講座」を実施しました。また、食品包装を広く知っていただくために、社会人はもとより、生活者、学生を含めた幅広い範囲を対象とした「食品包装検定」では、今年度16名の方が合格し、新たにフードパッケージメイトの称号が授与されました。

今年度からの新たな活動として、国内外からの食品包装に関連する問合せが急増していることを受け、当協会でも本格的にコンサルティング事業に取り組むことになりました。法人の設立当初より定款第3条に「食品・包装等に関するコンサルティング事業」の規定が定められていましたが、実際に展開する上での細則がありませんでしたので、新たに細則を設けるとともに、今後のコンサルティングの要請内容に合わせて専門分野ごとに、当協会の豊富な人材を配置し、要望に応じて人材を派遣していく等の対応を行う予定です。

会員の増強については、正会員94社（8社増）および個人会員10名（2名増）になりました。正会員企業は着実に増えており、今年度に入っても新規加入の企業が見込まれており、引続き本年度も新規会員の獲得に努めていきたいと考えています。

当協会は、法人化されて以来、組織のコンプライアンスを高め、会員の皆様に貢献できる組織にするべく努力を続けて参りましたが、今般のコロナ禍を克服するとともに、今後もより一層会員の皆様の満足は勿論のこと、食品包装業界および社会全体に貢献できる魅力のある協会にしていきたいと考えておりますので、皆様方にはこれまで以上のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 令和元年度事業実施詳細

### 登録会員数移動状況

#### 会員

平成31年4月1日 86社  
令和2年3月31日 94社 [新規入会8社]

#### 賛助会員

平成31年4月1日 8社  
令和2年3月31日 8社

#### 個人会員

平成31年4月1日 8名  
令和2年3月31日 10名 [新規入会2名]

#### 名誉会員

平成31年4月1日 8名  
令和2年3月31日 8名

### 令和元年度実施した諸事業、集会の状況

総会 1回  
包装界合同新年会 1回

#### 諸事業

会報“食包協”ホームページ発行 4回  
食品包装シンポジウム 1回  
食品包装人材育成研修(2回X3日間) 2回 ([初級]、[中級])  
食品包装技術セミナー(前期・後期) 1回  
研究例会 3回  
見学会 2回  
Next Package 2019 (展示会) 1回  
勉強会 1回

#### 集会

理事会 2回  
運営委員会 6回  
広報企画委員会 (3回)、シンポジウム・勉強会・見学会企画委員会 (4回)、セミナー・研究例会企画委員会 (2回)、人材育成・検定企画委員会 (1回)、新規事業企画委員会 (5回) 計 15回

### 令和元年度通常総会および記念講演

日時：平成31年4月26日(金) 10:00~12:00

場所：㈱印刷会館会議室

通常総会 (10:00~11:00)、記念講演・石谷理事長 (11:00~12:00)

出席者：委任状含めて72名(会員総数101名) 過半数で総会成立

議事：小国副理事長が議長に選任され、議事録署名人に、東洋インキ㈱ 川田 育孝様とハウス食品グループ本社㈱ 大塚 淳弘様が指名された。

第1号議案：平成30年度事業報告及び平成30年度収支報告

第2号議案：2019年度事業計画（案）及び2019年度収支予算（案）

第3号議案：定款変更 役員の増員に関する件

第4号議案：役付き理事に関する件

第5号議案：その他報告事項について

各議案とも満場一致で原案通り承認された。

記念講演：石谷孝佑理事長 「食品包装のスマートパッケージと IoP (Internet of Package)」

## 食品包装シンポジウム（第53回）

日時：令和元年10月24日（木）9:30～16:45

場所：北とぴあ

参加者：有償参加者37名、招待12名 計49名

テーマ：持続可能な社会における食品包装用プラスチックの在り方  
～ホンネで語る環境問題～

●講演：「日欧のプラスチック資源循環戦略の現状と今後のゆくえ」

みずほ情報総研(株) 環境エネルギー第一部 谷口 友莉氏

●講演：「軟包装リサイクルの課題と今後の取組み等について」（プラスチックリサイクル業界の立場から）

ヴェオリア・ジェネッツ(株) プラスチックリサイクル本部 喜田 知克氏

●講演：「味の素グループ ESG 課題への取組み～環境課題を中心に～」

（食品包装業界の立場から）

味の素(株) 環境安全基盤マネジメント部 田中 清氏

●講演：「トッパン『サステナブルパッケージソリューション』ご紹介」

（包装資材業界の立場から）

凸版印刷(株) パッケージソリューション事業部 川田 靖氏

●講演：「食品包装を巡る環境問題を俯瞰する」

（一社）日本食品包装協会 理事長 石谷 孝佑氏

パネルディスカッション： コーディネーター

石谷理事長

## 食品包装人材育成講座

〔初級〕

日時：令和元年9月11日(水)・18日(水)・25日(水)の3日間

場所：北区王子・北とぴあ 参加者：25名

内容：講師9名による食品包装関連初級講座

9月11日講義終了後、講師・聴講者との懇親会を実施

〔中級〕

日時：令和元年12月4日(水)・11日(木)・18日(水)の3日間

場所：北区王子・北とぴあ 参加者：18名(会員15名、非会員3名)

内容：講師9名による食品包装関連初級講座

12月4日講義終了後、講師・聴講者との懇親会を実施

## 食品包装技術セミナー（前期）

日時：令和元年6月26日(水)13:20～16:45

場所：北区王子・北とぴあ

参加者：有償参加者 61 名（内 認定証無償 2 名、非会員 3 名）、招待 6 名 計 67 名

テーマ；『容器包装の環境配慮』

◇講演 - 1：「容器包装における環境配慮」

農林水産省 食料産業局バイオマス循環資源課 課長補佐 菅井 剛氏

◇講演 - 2：「海洋プラスチック問題と地球温暖化対策」

大須賀技術士事務所 所長 大須賀 弘氏

◇技術講演 - 1：「キリンホールディングス(株)における環境と容器包装の考え方」

キリンホールディングス(株) パッケージング技術研究所 松井 栄太郎氏

◇技術講演 - 2：「『紙でできることは紙で』日本製紙株のパッケージ開発事例」

日本製紙(株)パッケージング・コミュニケーションセンター 野田 貴治氏

## 食品包装技術セミナー（後期）

令和 2 年 2 月 25 日(火)に開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により、開催延期措置をとり、令和 2 年 7 月 16 日（木）に振替開催予定あるいは状況によっては中止措置をとる。

テーマ；『食品包装における包装材料リサイクルの最前線』

◇講演 - I：「食品企業としての環境包装への取組み」

サッポロビール株式会社 生産・技術開発部 門奈 哲也氏

◇講演 - II：「マテリアルリサイクル、ケミカルリサイクルの現状と今後の動向」

東洋製罐株式会社 テクニカルセンター 神崎 敬三氏

◇講演 - III：「容器包装リサイクルおよび資源循環の現状と動向」

藤井包装技術事務所 藤井 均氏

## 研究例会

### 4 月度研究例会

日 時：平成 31 年 4 月 18 日（木）13:25～16:45

場 所：北とぴあ

参加者：有償参加者 30 名（内 非会員 2 名）、招待 6 名 計 36 名

◇製品紹介 - 1：「遮光性紙カップの開発」

凸版印刷(株) ビジネスイノベーションセンター 大沼 雄太氏

◇製品紹介 - 2：「超音波加熱シール式横形ピロー包装機（newTLM-α システム）」

(株)フジキカイ 営業本部長 宮田 敏弘氏

◇技術講演 - 1：「B to B メカニカルリサイクルの最新技術」

サントリーMONOZUKURI エキスパート(株) SCM 本部 包材部 加堂 立樹氏

◇技術講演 - 2：「飲料缶の最新動向」

東洋製罐(株) 取締役執行役員 テクニカルセンター長 神崎 敬三氏

### 7 月度研究例会

日 時：令和元年 7 月 25 日（木）13:25～16:45

場 所：北とぴあ

参加者：有償参加者 23 名（内 認定証無償 3 名）、招待 7 名 計 30 名

◇製品紹介 - 1：「『より快適に』を追求したドレッシング容器」

- キューピー株式会社 長野 学氏  
 ◇製品紹介 - 2 : 『明治スプレッタブル バターの新しいおいしさ』の開発  
 株式会社 明治 東 俊二氏  
 ◇技術講演 - 1 : 『水溶性フィルム (PVOH) の現状と今後の用途展開について』  
 株式会社クラレ 秋山 将人氏  
 ◇技術講演 - 2 : 『最新のスキンパック技術について』  
 三井・ダウポリケミカル(株) 服部 秀隆氏

## 1 月度研究例会

日 時 : 令和2年1月27日(月) 13:25~16:45

場 所 : 北とぴあ

参加者 : 有償参加者 48 名 (内 認定証無料 1 名、非会員 1 名)、招待 8 名 計 56 名

- ◇製品紹介 I : 『廃棄物のない未来を目指して～ネスレのプラスチックごみ問題に向けての取り組み～』  
 ネスレ日本(株) 執行役員 嘉納 未来氏  
 ◇製品紹介 II : 『介護食 (ムース食) 『エバースマイルに』の商品開発について』  
 大和製罐(株) メディカルサイエンス部 齋藤 貴洋氏  
 ◇講演 : 『軟包装用水性フレキソ印刷の現状と課題』  
 佐川印刷(株) 軟包装営業部 時田 直知氏  
 ◇技術講演 : 『器具・容器包装の制度改正に関する最新状況』  
 PVDC 衛生協議会 専務理事 渡邊 寿弥氏

## 勉強会

☆第一回 日 時 : 令和元年8月8日(木) 15:00~17:30

場 所 : 凸版印刷(株) 1F 会議室

参加者 : 20 名

講演 : 『食品保存技術の全体像とロングライフ化について』

～ 今話題のロングライフ惣菜を中心にレトルトから無菌包装まで～

講師 ; 増田食品開発コンサルティング 代表 増田 敏郎 氏

講演・討論後 全員参加による懇親会開催。

☆第二回 令和2年3月17日(火)に開催予定であったが、新型コロナウイルスの関係で開催延期措置をとり、令和2年12月22日(火)に振替開催予定

講演 : 『食品包装における超音波加熱シールの凄さ』

～ お客様ニーズに応える機械開発の極意～

講師 ; (株)フジキカイ 営業本部長 宮田 敏弘氏

## 第一回見学会

日 時 : 令和元年5月21日(火)8:30~18:00

場 所 : ジャパンテック(株) (栃木県鹿沼市)、カルビー(株)清原工場 (栃木県宇都宮市)

参加者 : 25 名

## 第二回見学会

日 時 : 令和元年11月12日(火)8:45~17:30

場 所：大森機械工業(株) (埼玉県越谷市)、サッポロビール千葉工場 (千葉県船橋市)

参加者：29名

## 食品包装検定・初級

### 第六回

日 時：令和元年7月2日(火) 13:30~15:00

場 所：(一社)日本包装機械工業会 会議室

参加者：36名 合格者：16名(合格率44.4%)

受験者全員に会員各社(味の素AGF(株)、(株)ロッテ、ハウス食品グループ本社(株)

(株)クレハ、森永製菓(株)、キッコーマン食品(株)、キリン(株)、雪印メグミルク(株) 計8社)より供与いただいた商品をお土産(パッケージサンプル)として配布

## 展示会 ; Next Package 2019

日 時：令和元年11月28日(木) (10時~16時)

場 所：UDX カンファレンス・ギャラリー4F (秋葉原)

講 演：①食品包装から考える地球環境問題と技術課題(石谷孝佑 理事長)

②容器包装リサイクルの現状(農水省 食料産業局 課長補佐 菅井 剛 氏)

③クリーンオーシャンマテリアルアライアンスの活動ご紹介

(CLOMA 事務局次長 竹下 満 氏)

来場者：会員216名、非会員94名 計310名

<出展協力企業> ; 1. DIC(株)、2. 藤森工業(株)、3. 押尾産業(株)、4. 東洋インキ(株)、5. 共同印刷(株)、6. 興人フィルム&ケミカルズ(株)、7. 富士フィルム(株)、8. (株)フジシール、9. 三井・ダウポリケミカル(株)、10~12. 東洋製罐グループホールディングス(株)、13. 大日本印刷(株)、14. 四国化工機(株)、15. 凸版印刷(株)、16. (株)武田産業、17. 日本テトラパック(株)、18. 三菱商事パッケージング(株)、19. キョーラク(株)、20. 東洋アルミニウム(株)、21. サエス・ゲッターズS.p.A、22. 日本エコリール(株) 23. (株)明治、24. キューピー(株)、25. カゴメ(株)、26. キッコーマン食品(株)、27. 味の素(株)、28. ハウス食品グループ本社(株) 計26社(28テーブル)

以上